

「日本の翡翠—その謎を探る」

著者 : 寺村 光晴
価格 : 2,700 円 (税別)
出版社 : 吉川弘文館 (1995/12/1)
発売日 : 1995/12/1
言語 : 日本語
単行本 : 284 ページ
ISBN-10 : 4642074732
ISBN-13 : 978-4642074735



縄文時代前期に現われた翠緑色の石「翡翠」は、装飾品として珍重され数多くの遺物を残したが、奈良時代に忽然とその姿を消してしまう。古代人を魅了したこの石を追い、日本にはないとされてきた産出地の探索・発見譚を語り、ヌナカハヒメの伝承などに触れながら、謎の多いその実像に迫る。

目次

- 1 謎のヒスイ—日本のヒスイはどこから来たか
- 2 ヒスイの発見—日本に発見されたヒスイ原産地
- 3 ヒスイの女王—ヒスイの古代伝承
- 4 ヒスイのムラ—縄文時代のヒスイ
- 5 ヒスイの大珠—ヒスイの始源
- 6 ヒスイの転変—縄文時代から弥生時代へ
- 7 ヒスイの工房—古墳時代のヒスイ
- 8 ヒスイの技術—どのようにしてヒスイを加工したか
- 9 ヒスイのネックレスとマジック—ヒスイの装身と信仰

古代史に関心を抱くということは、古代のロマンへの知的興味をかきたてるというだけではなく、私たちの心のうちなる古代をよみがえらせるということであり、そのように考えることで私たちの精神世界は深みを増し、心は元気づきます。古代を縄文・弥生の野蛮な人たちの歴史というふうにはとらえないで、あなたの遠い先祖の物語と考えるなら、古代は身近になり、それとともに日本翡翠はいっそう輝きを増します。